



ごあいさつ

松伏町文化協会会長 三瓶 修次郎

松伏町文化協会創立40周年に当り、一言ごあいさつ申し上げます。

当文化協会は諸先輩のご活躍ご努力により、長い間継承され40周年を迎えられたことは誠に喜ばしいことです。初代岡田会長から数えて私が9代目になりますが、10年もの長い間務められて現在の隆盛を築かれた石川前会長のよう、当文化協会の発展のために尽くす覚悟でございます。

日本は世界有数の長寿国となり、平均寿命が男女とも80歳を超えました。特に男性において、退職後の長い年月を如何に有意義に過ごすかが大きな課題ですが、仕事と違って利害関係のない趣味の付き合いは一生続けられます。また、作品を作り上げる喜びや作品を鑑賞した時の感動は何ものにも代えられないものです。

戦後の日本の驚異的な復興の背景に日本人の教育水準の高さと教養の高さがあるとされています。誰もが俳句や短歌、生け花や書道といった芸術を気軽に楽しんでいること、これほど教養レベルの高い国は世界の中では他にはありません。芸術には気軽に楽しむという側面もありますが、批判精神も必要です。この批判精神が健全な社会の証であると言われています。

松伏町には「田園ホール・エローラ」という日本でも有数の音響効果のある音楽ホールがあり、ここを拠点として様々な音楽活動が行われています。町においても音楽によるまちづくりを表明しており、町内の高校や中学では全国で優秀な成績を多くあげています。さらに、今年は松伏小学校出身の羽田圭介さんが芥川賞を受賞されました。様々な分野で活躍している方が多いのは喜ばしい限りです。

終わりに、今後とも会員を含め町民の皆様のご支援ご協力を仰ぎながら、地域に根ざした文化の向上のための活動を進めていきます。当文化協会の益々の発展

と、皆様のご健勝ご多幸を祈念申し上げまして、ごあいさついたします。